

# 日本赤十字豊田看護大学 大学院看護学研究科 修士課程

## 研究・教育者コース・専門看護師コース・認定看護管理者コース

本学の修士課程は、赤十字の基本原則に基づく専門教育機関として 2010 年に開設しました。看護師、保健師、助産師の方を対象として、保健・医療・福祉の現場で高度な専門性を発揮できる看護職者や看護管理者、看護学の発展に寄与する研究・教育者の養成を目指します。

<身に付けることのできる知識・技術・技能>

- ・赤十字の基本原則に対する知識および赤十字の基本原則のひとつである人道に基づいた倫理観
- ・看護学を探究するための基盤となる知識
- ・各専門分野・領域における最新の専門知識

<得られる能力>

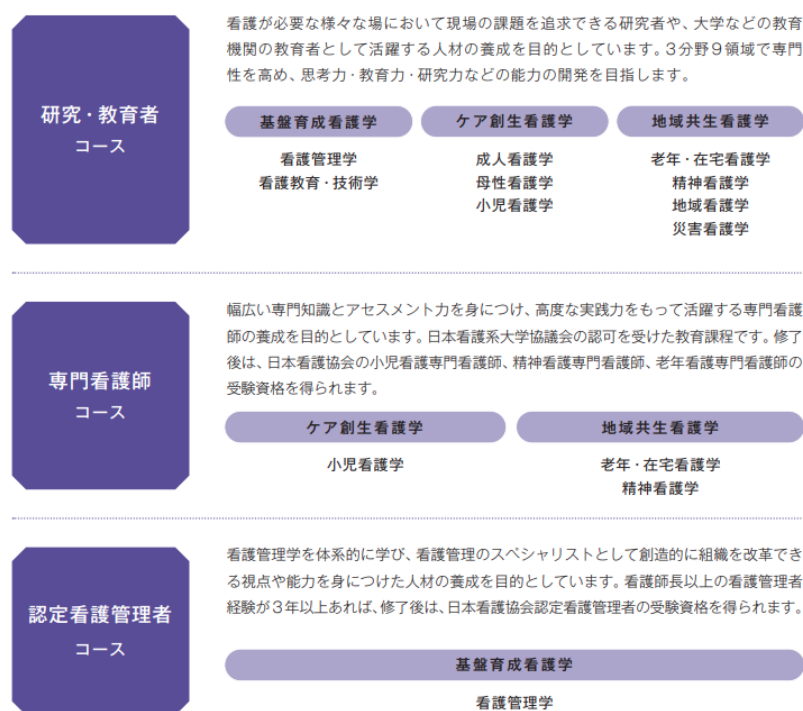
研究・教育者コース：

- ・看護学の発展に寄与できる研究能力
- ・看護における人材育成に寄与できる教育能力
- ・研究内容を論理的に説明できる能力

専門看護師コース、認定看護管理者コース：

- ・専門領域における卓越した看護実践能力
- ・多職種・他機関と協働・調整できる能力
- ・看護実践上の課題を解決するための研究能力

### 看護学の発展に寄与する研究者・教育者・高度実践者を養成する教育課程



医療現場では、高度な専門性を備えた看護職者が求められています。また看護学の進歩と発展に貢献する研究者・教育者の育成も急務です。本学ではこうした社会的要請に応えるコースを開設しています。

※教育課程、シラバスについては  
本学 HP からご参照いただけます。



学びのサポート - 働きながら学ぶための支援体制を整えています -

- 昼夜開講 平日夜間、土曜も開講します。遠隔で受講できる科目も増えています。
- サテライト 名古屋市内に授業や自習で利用できるサテライトキャンパスを有しています。
- 長期履修制度 2年間の学納金で3年間学習することができる長期履修制度を整備しています。
- 科目等履修 大学院の科目を1科目から学ぶことができ、入学後には修了要件単位数に含めることができます。

【お問い合わせ先】

〒471-8565 愛知県豊田市白山町七曲 12 番 33

日本赤十字豊田看護大学 事務局 学務課

TEL:0565-36-5111/e-mai:gakumu@rctoyota.ac.jp

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

①学校名:	日本赤十字豊田看護 大学(私立)	②所在地:	愛知県豊田市白山町七曲12番33号		
③課程名:	大学院看護学研究科 修士課程 認定看護管理者コース	④正規課程/ 履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成22年4月1日
⑥責任者:	長谷川 喜代美 研究科長	⑦定員:	修士課程看護学専攻10名(令和4年度認定看護管理者コース修了者数2名)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程の目的・概要:	教育目的: 本大学院は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図るため、看護に関する学術の中心として、広く看護の実践と教育・研究に関する理論と専門技術を教授研究し、深い学識及び卓越した感性と人間性を備えた高度な看護専門職の育成を図り、看護学の発展とともに世界の人々の健康と福祉の向上と豊かな生活の創造に寄与することを目的とする。 課程の目的: 広い視野に立って深い学識を教授し、人間性を涵養するとともに、看護学における研究能力及び高度な専門性を必要とする看護職としての高い能力を培うことを目的とする。 教育目標: 赤十字の基本原則を理解し、看護学の発展に寄与できる看護職者を育成するとともに、看護学の専門分野における卓越した実践能力を有する専門看護師・看護管理者を育成する。				
⑩10テーマへの該当	医療・介護	⑪履修資格:	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 大学を卒業した者及び卒業見込みの者 (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び修了見込みの者 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び修了見込みの者 (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び修了見込みの者 (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び授与される見込みの者 (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び修了見込みの者 (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号) (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者 (10) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程(その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定する当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者及び修了見込みの者 (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 * 専門看護師(CNS)コースを希望する方は、本学大学院の出願資格(1)から(11)のいずれかに該当し、当該CNS分野において、3年以上の実務経験を有すること		
⑫対象とする職業の種類:	看護師、保健師、助産師				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・赤十字の基本原則に対する知識および赤十字の基本原則のひとつである人道に基づいた倫理観 ・看護学を探究するための基盤となる知識 ・各専門分野・領域における最新の専門知識	(得られる能力) ・専門領域における卓越した看護実践能力 ・多職種・他機関と協働・調整できる能力 ・看護実践上の課題を解決するための研究能力			

⑭教育課程：	<p>教育目的・目標を達成し、ディプロマポリシーに掲げる人材を育成するために、共通科目と専門科目を体系的に編成し、以下の方針に基づいた教育課程を展開する。</p> <p>1. 共通科目 共通科目は、必修共通科目と選択共通科目で編成する。 ・必修共通科目は、看護学を探究し卓越した看護実践を展開するための基盤となる「看護理論」と「看護倫理」、赤十字の基本原則に対する理解を深めるための「赤十字と看護」からなる。 ・選択共通科目は、研究能力を育成するための「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」と「統計学Ⅰ」「統計学Ⅱ」、教育能力を育成するための「教育方法・評価論」「現任教諭」、卓越した看護実践能力を育成するための「病態生理学」「臨床薬理学」「ヘルスアセスメント」と実践の基本となる「セルフマネジメント論」「感染制御論」、多職種・多機関と協働する能力と組織内外の調整能力を育成するための「コンサルテーション論」「看護管理論」「看護政策論」からなる。</p> <p>2. 専門科目 認定看護管理者コースは看護管理学領域にコースを設定している。 認定看護管理者コースは卓越した見識と管理能力をもった認定看護管理者を目指すコースである。講義・演習・実習科目により卓越した管理能力を育成し、「課題研究」で看護管理上の課題を解決するための研究能力を育成する。</p>								
⑮修了要件(修了授業時数等)：	所定の授業科目について、30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、課題研究論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。								
⑯修了時に付与される学位・資格等：	修士(看護学)								
⑰総授業時数：	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%; text-align: center;">49</td> <td style="width:15%; text-align: center;">単位</td> <td style="width:15%; text-align: center;">⑱要件該当授業時数：</td> <td style="width:15%; text-align: center;">45</td> <td style="width:10%; text-align: center;">該当要件</td> <td style="width:10%; text-align: center;">双方向・実務家・実地</td> <td style="width:15%; text-align: center;">⑲要件該当授業時数／総授業時数：</td> <td style="width:10%; text-align: center;">92 %</td> </tr> </table>	49	単位	⑱要件該当授業時数：	45	該当要件	双方向・実務家・実地	⑲要件該当授業時数／総授業時数：	92 %
49	単位	⑱要件該当授業時数：	45	該当要件	双方向・実務家・実地	⑲要件該当授業時数／総授業時数：	92 %		
⑳成績評価の方法：	各科目の単位の認定は、試験の成績により行い、合格者に所定の単位を与える。試験は、筆記試験、口述試験、論文提出、その他とする。試験の成績は100点満点とし、成績評価は次の基準により担当行員が行うものとする。合格：S(90～100点)、A(80～89点)、B(70～79点)、C(60～69点)、不合格：59点以下。課題研究論文の審査及び最終試験の評価は、合格または不合格をもって表す。								
㉑自己点検・評価の方法：	<p>学校教育法第109条第1項に定められている評価を行う。</p> <p>セメスターごとに授業評価を行い、評価点および自由記述をとりまとめ、大学院教務・学生委員会の検討を経て研究科委員会に報告する。続いて、各科目担当者に評価内容をフィードバックし、各科目担当者が改善点・方法を研究科長に報告し、その結果を教育の質保証委員会で確認することで、プログラムの質の向上を目指す。これらの自己点検・評価の結果は本学HPで公表する。</p>								
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法：	修了時及び終了後5年間、アンケート調査により就職状況や修得した能力について把握し、効果検証を行う。								
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み：	<p>(教育課程の編成) 職業実践力育成プログラム検討会議において、外部委員から各所属施設における教育ニーズや臨床現場の課題、研修の実施状況、本学修了生の評価等の聞き取りを行うとともに、本学の教育内容に対する意見をいただくことで、社会のニーズや教育内容の希望を把握し、それらをふまえて教育課程の編成を検討する。</p> <p>(自己点検・評価) 職業実践力育成プログラム検討会議において実践における修了生の活動状況に関する状況を把握し、さらに外部評価者による教育内容に関する意見をふまえ、教育課程の評価を行う。</p>								
㉔社会人が受講しやすい工夫：	平日夜間・土曜開講、サテライトキャンパスの整備、オンライン開講、長期履修制度、科目等履修生制度								
㉕ホームページ：	<a href="https://www.rctovota.ac.jp/graduateschool/educatorcourse.html">https://www.rctovota.ac.jp/graduateschool/educatorcourse.html</a>								

(様式2)

## 授業科目の概要について

学校等名:	日本赤十字豊田看護大学
課程名:	看護学研究科 修士課程 認定看護管理者コース

要件該当授業時数:	45単位
要件該当授業時数/総授業時数:	92%

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	1	看護理論	1	2		○	○		村瀬智子	所属なし(実務家教員)
必修	2	看護倫理	1	1		○	○		山田聡子	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
必修	3	赤十字と看護	1	2					中島佳緒里	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科
自由選択	4	教育方法・評価論	1	1		○			龍崎忠	岐阜聖徳学園大学
自由選択	5	統計学Ⅰ	1	2			○		森田一三	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	6	統計学Ⅱ	1	2			○		森田一三	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
必修	7	看護研究Ⅰ(概論)	1	1		○	○		野口眞弓	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	8	看護研究Ⅱ(量的研究法)	1	2		○	○		野口眞弓	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									森田一三	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	9	看護研究Ⅲ(質的研究法)	1	2		○	○		片岡純	愛知県立大学看護学部(実務家教員)
自由選択	10	セルフマネジメント論	1	2		○	○		カルデナス暁東	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科
自由選択	11	感染制御論	1	2		○	○		下間正隆	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									東野督子	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	12	病態生理学	1	2		○	○		巻野雄介	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									下間正隆	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									栩川綾子	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									太田喜久夫	藤田医科大学医学部(実務家教員)
自由選択	13	臨床薬理学	1	2		○	○		池田義明	金城学院大学薬学部(実務家教員)
									山田浩雅	愛知県立大学看護学部(実務家教員)
自由選択	14	ヘルスアセスメント	1	2					中島佳緒里	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科
必修	15	コンサルテーション論	1	2		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									戸田 由美子	アドボケート精神看護研究所(実務家教員)
									井上さよ子	愛知県がんセンター
									田崎あゆみ	藤田医科大学保健衛生学部看護学科(実務家教員)
									木全美智代	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
									長尾大地	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
									石川恵己	特定医療法人共和会 共和病院
必修	16	看護管理論	1	1		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
必修	17	看護政策論	1	1		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									松浦正子	大阪信愛学院大学看護学部(実務家教員)
必修	18	現任教育論	1	1		○	○		山田聡子	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
必修	19	看護管理学特論	1	2		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
必修	20	人的資源管理論	1	2		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)
									松浦正子	大阪信愛学院大学看護学部(実務家教員)
									勝原裕美子	オフィスKATSUHARA(実務家教員)

必修	21	保健医療福祉組織論	1	2		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
必修	22	看護管理学演習	1	2		○	○	○	南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
必修	23	組織経営・経済論	1	2		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
									河合晋	岐阜協立大学	
									山上潤一	藤田医科大学病院	
必修	24	医療安全論	1	1		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
									飛田伊都子	大阪医科薬科大学看護学部(実務家教員)	
必修	25	看護管理学実習Ⅰ	2	2		○	○	○	南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
必修	26	看護管理学実習Ⅱ	2	2		○	○	○	南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
必修	27	看護管理学実習Ⅲ	2	2		○	○	○	南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
必修	28	課題研究	1,2	2		○	○		南谷志野	日本赤十字豊田看護大学看護学研究科(実務家教員)	
合計:	28科目			49					単位		

\* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

\* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。